

アークフラッシュ施工された老人施設からは6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

< ** > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<<施工報告>>



ハピネス霊園の施設 (J-Toc)



みなと整骨院の施工 (J-Toc)



都ホテル東京 (ピットスリー)



三幸倉庫 (ピットスリー)

<<アークフラッシュ灯>>

アークフラッシュ灯販売希望者がデモで必要な煙草の煙消失実験の装置が出来上がりました。希望者に数量が有り次第販売いたします。

<<新機種登場>>



<<インフルエンザ情報>>

県は18日、下橋中学校(盛岡市、生徒数303人)がインフルエンザの流行により、学校閉鎖の措置をとったと発表した。インフルエンザは例年4月までには終息しているが今季は5月中旬になっても大量罹患(りかん)が起きる珍しい状況になっている。

同中では18日、罹患者が141人にのぼり、57人が欠席。同日午後と19日の学校閉鎖を決めた。県保健衛生課によると、学校施設の閉鎖措置は03年シーズンは4月に3件、04年シーズンは4月以降はなかった。季節を通してみると今季の閉鎖措置施設の累積は18日まで68施設で03年の81施設、04年は115施設と比べて少ない

<<アレルギー情報>>

紫煙の漂う室内で育った赤ちゃんは、親がアレルギー体質だった場合、1歳までにアレルギー性鼻炎を発症する割合が3倍に増えることが、米シンシナティ大(オハイオ州)の研究で分かった。

同大のG・レマスタース教授らが、欧州の専門誌「小児アレルギー・免疫学」電子版に17日発表した。

調査の対象としたのは、親がアレルギー体質の乳児633人。喫煙状況も含めて各家庭の室内環境などを調べ、1歳までに現れた呼吸器系症状との関連を分析した。

その結果、室内での1日の喫煙本数が20本以上という家庭の乳児は、家族が全くたばこを吸わない家庭の乳児に比べて鼻炎の発症が倍増、特にアレルギー性鼻炎の発症は3倍に上った。また、かびの繁殖が目立つ家では、かびが全く見られない家に比べ、アレルギー性鼻炎が3倍、鼻や耳の炎症を伴い、抗生物質の投与を受けるほどの風邪にかかる割合は5倍に達した。

* 発行責任者:株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～45号までを配信希望の方はメールにて申込ください。